

管理会計論 A		非常勤講師 白山 真一	
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 選択必修科目 教職科目	科目ナンバリング	23010205 25320212

1. 授業のねらい・概要

管理会計は、企業戦略の策定、経営意思の決定、マネジメント・コントロールおよび業務活動のコントロールを通じて企業経営者を支援するものである。本講義では、管理会計の基本的な概念や用語を理解するとともに、実際の企業経営等で管理会計がどのような機能を果たしているのかについて、実務的・体系的に、かつ平易に説明する。なお、「工業簿記」「原価計算論」「経営分析」などを履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

各回について、以下の8.に記載のテキストを利用した講義形式で実施する。必要に応じて、新聞記事や企業のIR情報誌などを参考にしながら実務的な説明も行う。管理会計に関する簡単な練習問題も実施する。

3. 授業計画

1. 管理会計の現代的意義 2. 経営戦略とマネジメント・コントロール 3. 中期経営計画と利益計画 ①（中期経営計画の概要） 4. 中期経営計画と利益計画 ②（CVP分析と利益計画） 5. 予算管理 6. 経営意思決定支援の管理会計 ①（増分分析） 7. 経営意思決定支援の管理会計 ②（設備投資計画） 8. コストマネジメント ①（標準原価とライフサイクルコスト）	9. コストマネジメント ②（在庫管理と品質管理） 10. 原価企画 11. 事業部制管理会計 ①（事業部損益計算書と業績評価） 12. 事業部制管理会計 ②（事業部貸借対照表と業績評価） 13. 経営分析 ①（収益性分析） 14. 経営分析 ②（安全性分析と成長性分析） 15. まとめと復習 -日本の管理会計の実態-
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の講義テーマについてテキストの該当箇所の予習（1時間程度）をしておき、自分の理解が不十分な部分を明確にしたうえで受講すること。復習には指示した練習問題（1時間程度）を実施すること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を説明する。

6. 授業における学修の到達目標

管理会計の基本的な概念を理解したうえで、企業経営上における管理会計の機能を体系的に把握することにより、インターネットやマスメディアなどを通じて開示・報道される企業の管理会計の実例を自ら検討できるようになること。

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（50%）および定期試験の結果（50%）によって、評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストは、櫻井通晴・伊藤和憲編著（2017）『ケース 管理会計』（中央経済社）を使用する。参考文献は、櫻井通晴著（2019）『管理会計 第七版』（同文館出版）、岡本清等（2008）『管理会計』（中央経済社）をあげておく。

9. 受講上の留意事項

毎回の講義はテキストに従って実施するので、テキストは必ず持参すること。計算による説明が一定程度生じるが、

可能な限り理解しやすい解説をしていくので、疑問点や不明点は遠慮することなく、積極的に講師に問いかけてもらいたい。